

# 医療<②災害や新興感染症等発生時の緊急時対応>

新型インフルエンザに対処するため、厚生労働省の要請に基づき、全国の検疫所・停留施設に対し、55病院から医師延227人日、看護師延272人日を派遣（平成21年）

## 関西国際空港

- ・検疫(5/2~5/31)医師2~3人・看護師2~3人/日
- ・停留施設(5/8~5/20)医師1人・看護師1人/日

<派遣病院>

大阪医療センター、近畿中央胸部疾患センター、大阪南医療センター、京都医療センター、兵庫中央病院、刀根山病院、神戸医療センター、姫路医療センター、南和歌山医療センター、奈良医療センター、南岡山医療センター、呉医療センター、岩国医療センター、広島西医療センター

## 中部国際空港

- ・検疫(5/1~5/20)医師1~3人・看護師1~3人/日
- <派遣病院>

名古屋医療センター、三重中央医療センター、東名古屋病院、豊橋医療センター、鈴鹿病院、長良医療センター

## 福岡空港

- ・検疫(5/1~5/24)医師1人・看護師1人/日
- <派遣病院>

九州医療センター、九州がんセンター、福岡病院、福岡東医療センター

## 成田空港

- ・検疫(5/11~6/21)医師1~3人・看護師4人/日
  - ・停留施設(5/1~5/22)医師1人・看護師3人/日
- <派遣病院>

災害医療センター、千葉医療センター、東京病院、東京医療センター、千葉東病院、横浜医療センター、相模原病院、水戸医療センター、高崎総合医療センター、埼玉病院、西埼玉中央病院、下総精神医療センター、久里浜アルコール症センター、金沢医療センター、名古屋医療センター、福山医療センター、九州医療センター、長崎医療センター、熊本医療センター

## 下関港

- ・検疫(5/8~5/21)医師2人・看護師2人/日
- <派遣病院>

関門医療センター

## 岡山空港

- ・検疫(5/16~5/21)医師1人/日
- <派遣病院>

岡山医療センター

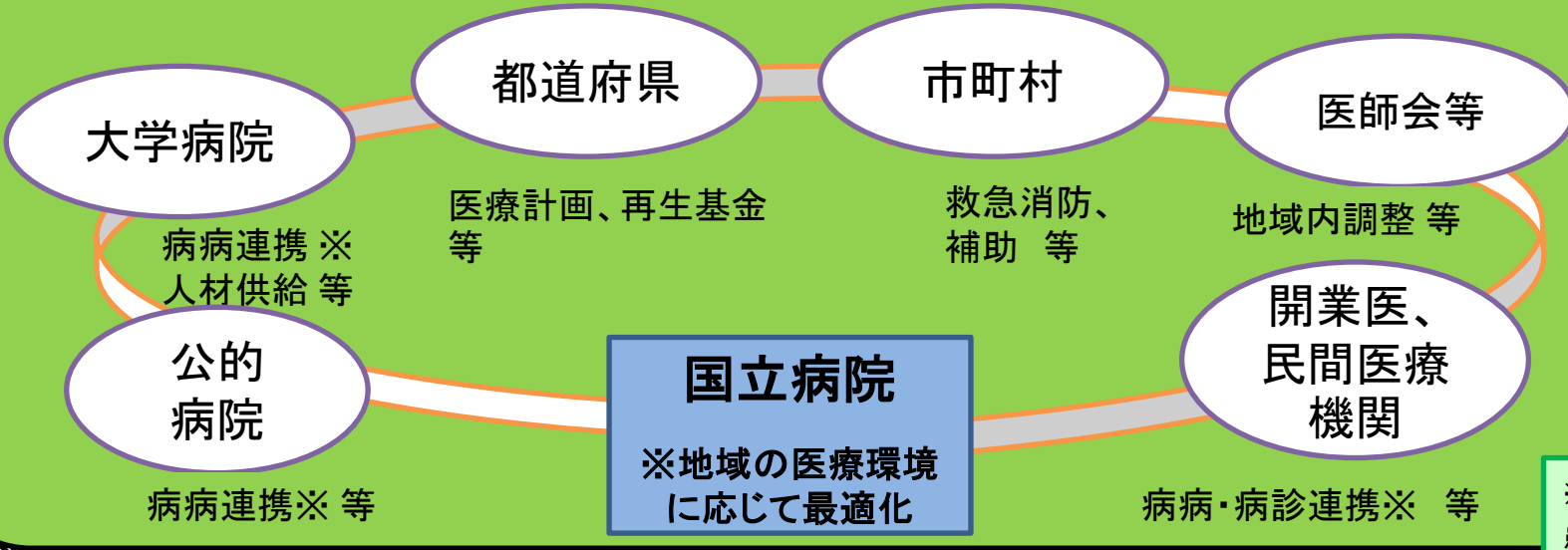
# 医療<③地域での医療の提供>

## (1) 地域医療の提供

- ・ 地域医療は、他の公私立の医療機関等と相互に連携しながら提供  
(都道府県は医療計画により地域内の医療機能を総合調整)
- ・ 個々の国立病院はこうした連携の下、**地域の医療環境に応じて最適化**

医療計画により、  
地域内の医療機能を  
総合調整

### 各地域(提供側)



地域ニーズに合った医療サービスの提供

医療サービスへの対価・支持

※病病・病診連携  
患者紹介・逆紹介、  
地域連携クリティカル  
パス、  
医療機器共同利用、  
開放病棟 等

地域の住民・患者(人口や年齢構成は、場所や時期によって大きく異なる)

# 医療<③地域での医療の提供>

## (2) 地域医療支援病院

47病院が地域医療支援病院に認定されている

### 活動事例<<岡山医療センター>>

#### ①県内7医師会を通じ、開放病床(10床)を設置

登録医数:110名 取扱延患者数:1,183名【平成22年度実績】

#### ②大型医療機器(CT、MRI、RI)を共同利用

CT:311件、MRI:173件、RI:26件【平成22年度実績】

#### ③地域医療研修室を設置し、研修会を実施

・医師向け研修(年9回)計186名が参加【平成22年度実績】

・薬剤師向け研修(年4回)計105名が参加【平成22年度実績】

## (3) 紹介率・逆紹介率の向上

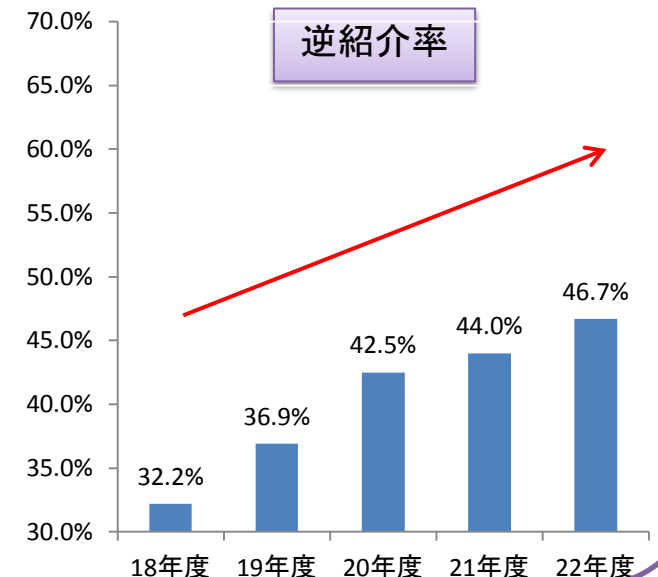
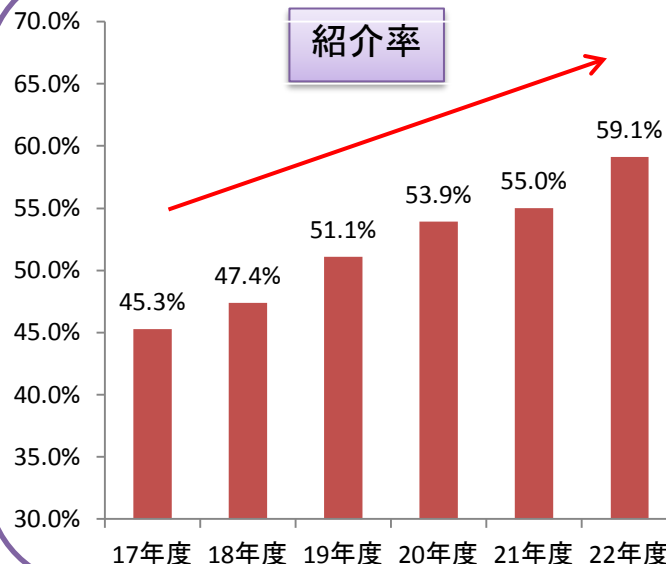
地域のかかりつけ医等との連携促進により、紹介率・逆紹介率ともに向上している。

急性期・高度専門医療を行う病院を中心に向上

例:長崎医療センター

紹介率 :85.9%  
逆紹介率 :74.7%

国立病院144病院の総計



# 医療<③地域での医療の提供>

## (4) 地域における診療拠点としての役割

国立病院機構の病院は、地域における診療拠点として、拠点病院等の認定を受けており、4疾病5事業等の地域における医療提供体制の確保に大きく貢献している

### 全国の拠点病院等に占める国立病院の割合

	全 国	国立病院	割合
救命救急センター（H24.3現在）	246	18	7.3%
総合周産期母子医療センター（H24.3現在）	92	5	5.4%
地域周産期母子医療センター（H24.3現在）	284	18	6.3%
災害拠点病院【全体】（H24.3現在）	641	27	4.2%
基幹災害医療センター（H24.3現在）	59	4	6.8%
がん診療連携拠点病院【全体】（H24.3現在）	397	36	9.1%
都道府県がん診療連携拠点病院（H24.3現在）	51	3	5.9%
地域がん診療連携拠点病院（H24.3現在）	344	33	9.6%
へき地拠点病院（H24.3現在）	270	8	3.0%
エイズブロック拠点病院	14	4	28.6%
エイズ治療拠点病院（H24.3現在）	380	71	18.7%
	47都道府県	40都道府県	85.1%

(参考) 全国の病院（8,605病院（平成24年1月31日現在））に占める機構病院（144病院）の比率は約1.6%。

# 医療<③地域での医療の提供>

## (5) 医療計画の策定等への貢献

国立病院機構関係者が都道府県の医療計画の策定に貢献するなど、地域医療政策に積極的に  
関与している

【各都道府県の医療連携体制について検討・討議するために設置される委員会等への参加状況】

・都道府県医療対策協議会等：27病院(平成22年度) ・地域別・疾患別の委員会等：154病院(平成22年度)

【各都道府県の医療計画における4疾病・5事業に係る記載状況(平成23年3月末現在)】

・4疾病：がん70病院、脳卒中78病院、急性心筋梗塞50病院、糖尿病51病院

・5事業：救急医療106病院、災害医療49病院、へき地医療12病院、周産期医療49病院、小児救急医療70病院

## (6) 地域医療機関との機能分担による医療提供

医療計画等に基づき、地域の医療機関との機能分担を図りながら提供

大腿骨頸部骨折の例〔地域連携クリティカルパスを活用〕

